

豊かな長寿社会を実現するために

# いたわい



一般社団法人 茨城県福祉サービス振興会情報紙

【発行人】 鈴木一良 【編集・発行所】 (一社) 茨城県福祉サービス振興会  
【編集委員】 小室博俊、安藤真理子、柳下文江、桐原久雄  
〒310-0851 茨城県水戸市千波町1918番地 茨城県総合福祉会館5階  
TEL.029-241-6939 FAX.029-241-6799

## ごあいさつ



水郷桜イルミネーション会場から望む初日の出



一般社団法人茨城県福祉サービス振興会  
会長 鈴木 一良

明けましておめでとうございます。お健やかに新年をお迎えになられたことお喜び申し上げます。

一般社団法人茨城県福祉サービス振興会といたしましては、本年も、社会保障費を抑制せざるを得ない国の財政状況の中にもありまして、少しでも豊かで安心して生活できる高齢社会の実現に向けて寄与できますように活動を続けてまいりたいと考えております。

さて、昨年は4月に介護保険の改定が実施され、福祉・介護にかかわる事業所の大部分が厳しい減収に見舞われ、その対応に奔走された一年であったこと存じます。また、安全衛生法が改正され、昨年末からストレスチェックも実施が義務化されました。介護職などの人材の不足が慢性化の傾向にある介護の職場においては、肉体的負担と相まって心理的な負担も増大しがちで、従業員にとっては有用な制度であると思われまます。



茨城県知事 橋本 昌

あけましておめでとうございます。

茨城県福祉サービス振興会の皆様方には、日頃より本県の福祉サービスの振興を通じ、県政の推進に多大なご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

昨年は、関東・東北豪雨の発生など、大変な一年でありましたが、一方で企業の立地が順調に進みますとともに、G7科学技術大臣会合のつくば開催が決定されるなど、明るい話題もありました。

本年は、災害に強い県土づくりとあわせ地方創生に全力

今年からは、マイナンバー制度への対応やストレスチェックへの対応(当面は、50人未満の職場は努力義務ですが、いずれは全企業に義務化されるといわれています。)など事務量が一段と増え経営環境はさらに厳しさが増すことが予想されます。

当振興会といたしましては、メインの事業であります講座・研修事業にしまして、県民及び会員事業所の要望も取り入れ、県民向け、介護職向け、リーダー・管理職向けに、また、専門研修、医療講座など各階層、各分野にわたって幅広く充実したものにしていきたいと考えております。本年度も関係団体と連携を図り、存在感ある団体として引き続き認知していただけますよう役員一丸となって努力する所存でございます。

会員の皆様におかれましては、厳しい景況ではありませんが、本振興会の事業運営にご支援、ご協力をお願い申し上げますと共に、より一層地域に密着した企業としてご利用者のニーズに応えたサービスを提供し、地域になくなくてはならない企業として活躍されますことを、ご祈念申し上げます。新年のごあいさついたします。

で取り組んでまいります。

まず、広域交通ネットワークの整備や企業誘致、海外展開を含めた中小企業や観光の振興、U・J・ターンの促進や県北地域の振興などに力を注いでまいります。

また、結婚・出産・子育て支援や地域医療の充実、高齢者の健康・生きがいづくりや障害者の自立支援、公共交通や生活支援サービスの確保などを進めてまいります。

さらに、少人数教育や理数教育・国際理解教育の推進など、我が国の将来を担う人づくり、女性や若者が活躍しやすい環境づくりなどに力を入れてまいります。

皆様方には、今後とも県行政へのご理解とご協力をお願い申し上げますとともに、茨城県福祉サービス振興会の益々のご発展と、会員の皆様のご健勝とご多幸をお祈りいたします。新年のごあいさついたします。

## 新春の話題

「歌って、踊って、にっこり笑顔」  
音楽療法!

音楽療法で活性化。今、注目を集めさまざまな施設などで行われています。今年は申(さる・シン)年、伸びる年といわれています。音楽療法もより広く取り組まれそうです。そこで今回は音楽療法にスポットを当ててみました。

紙面の都合から、弊社(一社)茨城県福祉サービス振興会の2会員の取り組みを紹介いたします。

社会福祉法人縦山会は特別養護老人ホーム、介護老人保健施設、通所介護事業所などを運営しています。(株)常磐第一興商はカラオケ事業等を展開する企業です。

## 縦山会の取り組み

## 音楽療法を楽しむ 元気に

平成25年、入居されている方々の活性化を促すことを目的に音楽療法を始めた。

施設に音楽療法士の先生を招いて、馴染みのある童謡や唱歌をみんなで歌ったり、楽器を鳴らしたり、踊ったりして脳を活性化する回想療法だ。週

一回のペースで行っている。

声を出すことで心肺機能、口腔機能が活性化して、驚くことに、音楽療法を始めてからは普段から歌を口ずさむ方が増え、笑顔が増え、先生が来るのを楽しみに待っているようになった。

にっこり、

同じ時間を共感する喜び

実際におきたことです。始めて3回目のセッションの時でした。



重度な認知症の方です。ある曲で突然歌い始めたかと思うと、それまで無表情だったのに、確かににっこりと笑顔になったのだ。

音楽療法士の先生も、周りにいた職員もびっくりして、顔を見合わせ、みんな喜んで。普段は何も話さないのに、その時は「お世話になっています。」とも言った。

音楽療法を始めて本当に良かったなと思った瞬間だった。



入居者と職員とが共に楽しみながら関係性を豊かにする。これも目的にしていたので、同じ時間に共に喜び、楽しむことができたこの共同体験は貴重なものだった。

このような体験が豊かな人間関係を構築し、心が豊かになり、介護もやりがいのある楽しい仕事となる。介護は心でするものだ。心は人間らしさであり、介護の原動力だと確信した。



## 音楽療法とリハビリが 介護の架け橋

音楽療法を通して得た職員自身の感動体験は、作業療法士によるリハビリテーションをも活性化させている。

個別ケアに際して、入居者の方の趣味、趣向を把握して、残存機能を生かしながら、感動が生まれるレクリエーションに積極的にアプローチして共同体験をしようとするなど、効果が生まれている。

今年も、音楽療法士と作業療法士が共同でするケアに取り組み、介護の架け橋となるよう、当縦山会の理念である「共生」「共感」「共創」を実践したいと考えている。

### (株)第一興商の取り組み

## うたと音楽の力で 超高齢化社会を支援

平成13年から、主力のカラオケ事業に加えて高齢者の健康づくり・介護予防に取り組み、高齢者向けプログラムとして「DKエルダーシステム」(生活総合機能改善機器)を開発している。この機器は、カラオケの他に、高齢

者向けに童謡や演歌、歌謡曲などを使った運動プログラムや独自の音楽レクリエーションプログラム、思い出映画館と銘打った懐かしい映像プログラムなど400を超えるコンテンツをもつ複合型の通信カラオケだ。

現在、全国のデイサービスや老健・特養などの介護施設や公民館、集会所などを中心に18,000か所以上の施設に導入されている。



## 東北福祉大、鶴見大と 共同で効能を実証

平成22年から東北福祉大と「音楽+



体操」のプログラムを、鶴見大とは24年から「歌うこと」に関する効能の継続的な検証を始めた。

その結果、健康関連のQOL(生活の質)の維持改善に有効であることや、唾液分泌量の増加・唾液中のストレス物質の低減などの効果が証明された。

26年からは神戸大学とも参加者の行動範囲・内容等の調査研究を進めている。

## 県内での導入の例

県内でも多くの施設で導入されているが、つくば市での(株)常磐第一興商の取組を紹介する。

平成25年、つくば市に「DKエルダーシステム」を活用した介護予防教室の開催を働きかけ、翌年シルバリーハビリ体操指導士の皆さんの理解を得て、指導者として使用していただき、市職員の皆様にも使用していただき、効果の有効性の確認をした。

27年度には9台が、地域交流センター、保健センター、健康増進施設等に配置された。

また、茨城新聞にこの機器を活用した健康教室の様子が掲載された(平成27年6月12日付)。

その記事によると、「歌詞と体操をする女性が画面に映し出されるとインストラクターと共に参加者が一斉にメロディに合わせて歌いながら体を動かした。参加者の一人は、『曲を聴くうちに、自分の子どもを思い出してしまっ』と言葉を詰まらせながらも一生懸命に体操」と紹介されている。歌と音楽には、健康維持や心と体の機能改善にも大きな効果が見込まれる。うたと音楽の力で超高齢社会を支援したい。以上2社の紹介です。

## 有限会社 ヨシフク



住所：〒310-0841  
水戸市酒門町1437-3  
電話：029-248-5307  
FAX：029-248-0086  
代表者：代表取締役 部 敏幸  
Eメール：yosifuku@sunshine.ne.jp  
設立年月日：平成2年10月

### ■業務内容

介護保険指定事業所（介護保険福祉用具の販売とレンタル）  
介護用品・医療機器・福祉機器の販売  
住宅のリフォーム

**取り扱っている、主な福祉用具の種類**  
車椅子、特殊寝台・付属品、じよくそ  
う予防具、体位変換器、手すり・スロー  
プ、歩行器と補助杖、認知症老人徘徊  
感知器、移動用リフト、電動昇降機・  
昇降椅子、バスリフト、他各種介護福  
祉用品

## 会・員・事・業・所・訪・問

「明るい仲間、思いやり」  
まずはご相談を。事業範囲は県  
内全域。

戦後70年が経過、その戦後の  
復興、成長と国の発展、今日の  
国作りを支えてきた団塊の世代  
が高齢化し超高齢化社会を迎え  
ようとしている。今回お尋ねし  
た(有)ヨシフクは、やがて来る高  
齢化社会を見据え平成2年に創  
業した福祉用具販売・レンタル  
の老舗的事業所だ。

介護保険制度がスタートした平成12  
年には、介護保険対応事業所に認定さ  
れた。

社は「思いやりの精神」。何事に  
も正直でありたい。取引先との情報の  
共有を大切にしているのも当事業所の  
特徴の一つ。アフターフォローも万全  
だ。

利用者が福祉機器・介護用品を選ぶ  
場合、カタログを見て、シヨールーム  
で実物に触れ特徴を理解した上で少し  
でも使いやすいものを選んでいただき  
たい。難しく考えないで、どんなこと  
でもまずはご相談を。笑顔で、きめ細  
かいサービス、迅速丁寧に対応するよ  
うに心掛けている。

## クマリフト株式会社 茨城営業所



住所：〒305-0821  
茨城県つくば市春日4-5-7  
(クラモチ春日マンション1F)  
電話：029-852-0780  
FAX：029-852-0881  
代表者：代表取締役 熊谷 知哉  
本社：大阪市  
東京支店、  
営業所/全国38店舗  
Eメール：ibaraki@kumalift.co.jp  
URL：http://www.kumalift.co.jp

### ■業務内容

エレベーター、ホームエレベーター、  
ダムウエーター  
段差昇降機・段差解消機の製造、販売、  
据付、保守管理

**階段の昇り降りが楽になる。**

**いす式階段昇降機**

クマリフトはホームエレベーター、  
段差昇降機・段差解消機の開発・製造  
から据付・メンテナンスまで一貫して  
行うトップクラスの企業。

近年、個人住宅にもクマリフトの段  
差昇降機・段差解消機を設置する住宅  
が増えてきた。据付が簡単で先の震災  
にも優れた耐久性が実証されている。  
安心、安全、そして優しさはクマリフ  
トコンセプトだ。

### 編集後記

高齢者の義父、義母の介護の為、会社  
を、余儀なく退職した50代半ばの男性社  
員。紛れもない事実介護の実態を痛感  
戦線離脱の中、安倍総理の成長戦略も霧  
に霞む、いろいろと考えさせられた旧暦  
だった。

(小室)